

# 南ア コロナ 感染急増

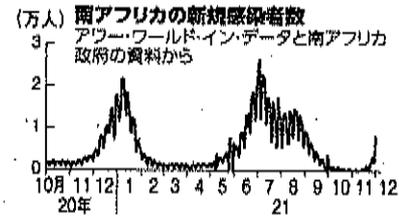
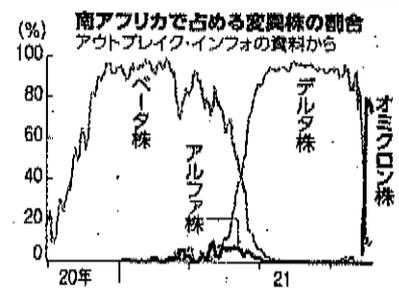


首都プレトリアのマメロディ地区で新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける住民＝1日、遠藤雄司撮影

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が最初に報告された南アフリカで新規感染者数が急増している。同国の国立伝染病研究所（NICD）によると、1日の新規感染者数は8661人（陽性率16.5%）で、前日の4973人（同10.2%）からほぼ倍増。死者は28人で、前日の21人から7人増えた。▼7面＝米でも確認

## オミクロン株 7割に急伸

1日午後1時過ぎ、首都プレトリア東部にあるマメロディ地区の市民センターを訪れた。体育館のようなスペースには、1席ほど空けて椅子が並び、20人あまりの住民がワクチン接種の順番を待っていた。1回目打ち終えたフリーダム・クビサさん(55)は「オミクロン株が怖いので受けることにした」と苦笑した。南アでは12歳以上を対象にワクチンを接種しているが、先了した人は総人口の約24%にとどまっている。ラマポーザ大統領が「変異株から身を守るためにはワクチン接種が最も重要」と演説で強調するなど、国民に接種を呼びかけている。NICDによると、新型コロナウイルスによる死者は1日時点で計8万9887人。1月には1日8000人超の死



「を記録した。9月に第3波の収束を宣言。政府は10月1日、新型コロナウイルスに対する警戒レベルを最も低い「レベル1」に引き下げ、

## ウイルス 水面下で進化か

南アの研究者グループによると、南アでは11月、ゲノム(全遺伝情報)を調べた249検体のうち189(74%)がオミクロン株だった。デルタ株による流行収束後、急速に置き換わっており、感染力の高さが懸念される。29日、保健省の

ある人が再感染したり、ワクチン接種者が感染したりする恐れがあるとした。新規感染者数の急増は主に首都プレトリアや最大都市ヨハネスブルクを含むハウテン州で確認されている。NICDの専門家らは、25歳以下の若者を中心に始まり、次第に高い年齢層にも広がっており、年齢層も若く世代は、外出して集まるなど活動的であることが特徴であるとみられるという。

南ア医師会長で新型コロナウイルス患者の治療にもあたったアンジェリック・クッツィエ医師は28日、国営南アフリカ放送協会の取材に「重症化しやすいかはまだ分からないが、臨床で診た患者はワクチンの有無にかかわらず症状は重くない」と指摘した。世界保健機関(WHO)の11月30日の資料によると、感染力が上がっている直線的な証拠はまだないとしている。

ここで生じたかは明らかではない。ただ、元になったウイルスはかなり早い段階で存在し、水面下で進化を続けていたようだ。米科学誌サイエンスによると、新型コロナウイルスのゲノムを分析してきたスイス・ベルン大学のマ・ホドクロフト氏は、大流行したアルファ株やデルタ株から生じたものではないと指摘。これまで公開された何百万もの新型コロナウイルスのゲノムとは大きく異なり、他の株から枝分かれしたのとは「2020年半ばまでは比較的、最近のようだが、南アでは11月8日の週に突然現れた。日本では空港などの検査の検査で陽性になると金例、この変異株が調べてきた。11月28日までには計約3千人に上るが、過去にさかのぼってもオミクロン株は確認されていない。(遠藤雄司)ヨハネスブルク、阿部彰彦)